

二井坂区自主防災訓練を訪問

平成 26 年 9 月 28 日（日）

平成 26 年度、各行政区単位で自主防災訓練が行われています。今回「二井坂区」の自主防災訓練を訪問しました。

防災無線での訓練の開始を合図に、住民の皆さんが児童館に集まり訓練が始まりました。「突然の地震に対し、『どうしたら生き残れるか』いざという時を常に考えて」という宮本区長の話の後、4色分けしたグループごとに5つの訓練を体験。各訓練コーナーでは、区役員が参加者へポイントを説明しながら体験を進めていきました。まさに、自主防災訓練！

二井坂区役員の方々は、昨年・今年と、サポセン登録団体の「愛川町災害ボランティアネットワーク（ASVN）」が町との住民提案型協働事業で開催している、『地域密着型災害ボランティア養成講座』に参加し 防災、減災について学んできたそうです。

ASVN、区防災指導員、消防団、消防本部の協力のもと、最後は約100名の参加者全員で炊き出しをいただき終了しました。

「きょうの訓練から災害に備えるヒントを持ち帰ってほしい。」と、ASVNの石田代表の言葉。「参加してよかった！」「ためになった！」と満足な表情の参加者、多くのヒントを得たようでした。



炊き出し：炊飯袋では雑炊、煮魚も可能



新聞紙スリッパ：参加者に大好評



消火訓練：ポリ袋の水玉で消火



ポリ袋で包んでトレイ再利用



水の調達：ゴミ袋に入れて背負うと軽い

当日、民生委員と連携しての要援護者の安否確認の取組や、「かながわシェイクアウト」への参加も行われたそうです。下記の「自主防災訓練」のお知らせは事前に各戸へ配布されたものです。

二井坂

二井坂区便り NO. 3
発行責任者 区長 宮本久明
発行 2014.8.31 会員数 526戸

自主防災訓練

平成26年9月28日(日)

8:00~12:00

今年度は、愛川町全体で自治会を中心として自主防災訓練が行われます。二井坂区でも平成26年9月28日(日)に、自主防災訓練を実施します。日頃の準備と訓練が大切なことは、東日本大震災以来、マスコミ等で再三報じられています。是非ご参加ください。

《ねらい》

南関東地震は、相模トラフを震源とする地震で、発生が危惧されています。神奈川県では、1923年の大正関東地震の再来型として、県地域防災計画の想定地震の一つとして位置づけています。そこで、次のねらいで自主防災訓練を実施します。

- ・私たちの防災意識の向上を図りましょう。
- ・地震発生時の安全確保行動や地震災害に対応する知識や技術を学びましょう。
- ・地震が発生した時には、まず自らの身を自らで守ることの大切さを体験しましょう。

平成26年度かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)に登録

《家庭でできる シェイクアウト》

- ・DROP! (ドロップ まず低く)
- ・COVER! (カバー 頭を守り)
- ・HOLD ON! (ホールド・オン 動かない)



- ①ドロップ:まず低く!
- ②カバー:頭を守り!
- ③ホールド・オン:動かない!

《当日の日程》

8:00~ 避難訓練の放送が入ります。

- 家庭で行う安全確保 …次の様な行動を取りましょう
 - ・家庭内での身の安全確保(シェイクアウトの実施)
 - ・火の始末、ガスの元栓を締める
 - ・家族の安否確認
 - ・脱出口の確保
 - ・避難する際のブレーカー切断

8:30~ 二井坂児童館への避難訓練

9:10~ 訓練開始 4グループに分かれて、防災体験をそれぞれします。

- 炊き出し訓練 …小さなビニル袋を使っての炊き出し、カレーライスにして食べましょう。
- 家庭でできること…新聞紙を使った簡易スリッパとビニル袋を使った三角巾の作製
- 簡易トイレの製作…段ボールを使って簡易トイレの作製
- 消火訓練 …小さなビニル袋を使っての消火訓練
- 水の調達訓練 …身近な物を使って水を運ぶ訓練

◎愛川町災害ボランティアネットワーク 石田安秀 氏 他

- 講話 1 訓練の総評
- 2 健全に生き残るには
 - ・シェイクアウト
 - ・身の回りの品でできること
 - ・ローリングストック

12:00 閉会

※区防災指導員や消防団第3分団第3部にもご協力いただきます。